

経尿道的膀胱腫瘍切除術（TUR-Bt）を受けられる患者様へ（2泊3日）

様

経過	外来検査	手術日入院(術前)	手術日入院(術後)	術後1日目	術後2日目
月/日	/	/	/	/	/
安静度	入院前日に入浴して体を清潔にしてください。	自由ですが、術前準備がありますのでなるべく病室にいてください	ベッド上安静ですが、麻酔が覚めればベッドの上で足を曲げたり寝返りはうてます。	体を清拭後、病衣に着替えます。その後より歩行が出来ます。何か希望がありましたらいつでも声をかけてください。	
お食事	手術前日、夜9時以降は飲んだり、食べたりしないで下さい。	入院後も絶飲食になります。	手術後8時間後より水分が飲めます。	昼食より常食がでます。 	
検査	手術前の血液検査、心電図、胸・腹のレントゲンの検査を行います。	心電図結果により心超音波検査をすることがあります。 			
治療処置		流腸を行いません。担当看護師が声をかけますので病室にいてください。 抗生物質（化膿止め）の豆注射をします。 手術着に着替えてから、点滴を行います。 手術前には、眼鏡、時計、入歯、指輪、コンタクトレンズなどをはずします。 手術直前には、名前のついた帽子をかぶります。 手術室へはストレッチャーまたは、ベッドで行きます。	手術中に尿の管が入ってきます。 尿の管の刺激でおしっこがしたくてたまらない感じがあるかもしれません。この時はお薬を使いますのでお知らせください。 痛みがある時、眠れないときは、お薬を使いますのでお知らせください。	朝の医師回診時に、尿の管を抜きます。 	
お薬	手術に影響のある常用薬を確認します。 手術当日は主治医が中止した薬以外を朝少量の水で内服してください。 	常用薬の確認をします。 薬剤師より服薬指導があります。	大きい点滴（栄養）3本と小さい点滴（抗生剤）1本を行いません。点滴は一晩中続けてします。	常備薬の内服は昼食後から出来ます。（本日のみ、ずれて内服します） 大きい点滴2本と小さい点滴1本を行いません。全てが終了したら針を抜きます。点滴は昼頃には終了します。 夕方から、抗生剤の内服を開始します。	薬剤師より服薬指導があります。 次回外来まで中止薬は内服しないで下さい。
ご説明	入院生活上のことをお話します。 全体の入院経過の概要をお話します。 手術について主治医から説明があります、説明に納得されましたら、サイン、捺印をお願いします。	手術の時間が確定できないこともあります、時間がわかり次第お知らせします。又手術時間が決まった後も多少前後することがありますので御了承下さい。 家族の方は、手術中、4階談話室か病室でお待ち下さい。	手術結果は、ご本人に手術室で医師より説明があります。	尿の管を抜いてからおしっこが出ない場合お知らせください。（しばらくは、頻尿や血尿、排尿時痛がある場合があります） 尿の管を抜いた後、2回尿の色を確認します。尿器を用意しますのでとれたら看護師に知らせてください。 水分を多めに取ってください。	次回受診日をお知らせします。
検温		入院後検温、身長、体重、血圧測定をします。 	適宜、検温、血圧測定を行いません。	検温は午前6～7時、午後2～3時、6～7時頃行ないます。また、必要時臨検します。	検温は午前6～7時頃行ないます。
その他	バスタオルを1枚使いますのでお持ちください。	着替えの前に排泄を済ませてください。			